

使いやすい障害者手帳

学校法人 岡学園トータルデザインアカデミー
エントリーNo.61 テーマA 部門1 近藤 珠乃

障がい者手帳とは

身体障害者手帳、療育手帳（知的障害者用）、精神障害者保険福祉手帳という障害を有する人に発行される手帳のことです。表紙に障害者手帳と表示されており、障がいの種類はわからないようになっています。乗車券や携帯料金の割引など様々な役割があります。



シニアガイド

問題点

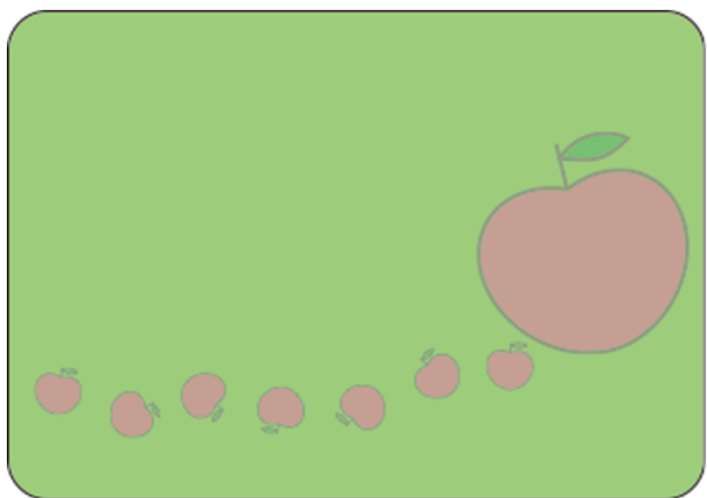
障害者手帳のケースが落としやすいかたり財布に入らないなど、使いづらいという意見がありました。

障害者手帳は、障害がある方にとっては必需品なので、使いやすくなくてはなりません。

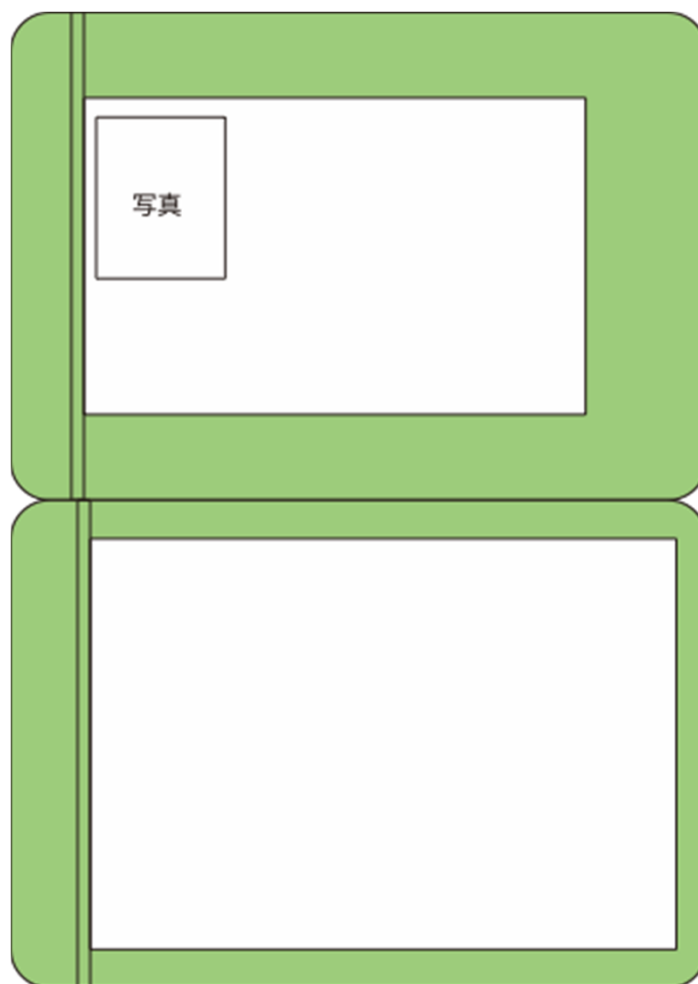
手帳の中身も、住所と名前のページが違って不便ということもありましたので、そこも今回デザインしました。

障害者手帳用ではなく、他の用途にも使え様々な人が使えるようなデザインにしました。

案



表面



免許証 クレジットカード
障害者手帳の中身が入る

診察券などサイズの大きな物が入る

ポイント

大きさは免許証と同じくらいの大きさで、財布にも入るようにできるだけ薄めの生地の手帳カバー。

障害者手帳以外にもクレジットカードや名刺、診察券を入れることができ、様々な用途で使えます。障がいのある人だけでなく

財布に入れられない人もチェーンや紐を付けられて落とさないようにする為の所も付けます。

カラーバリエーション

色は、「前向きになり良い方向に進んでいく」「気持ちが安らぐ」「健康、生命力」などの意味がある緑



「楽しい」「明るい」「外交的」の意味があるオレンジ



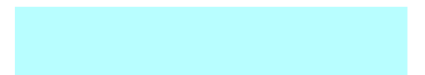
「可愛い」「優しい」「愛情」の意味があるピンク



「情熱」「活力」「生命力」のレッド



「冷静」「自由」「開放的」の水色



まとめ

障害のある方もいろいろな人が使いやすく、色も心理的効果がポジティブな色を使うことで、障害者の方が障害者手帳を出しづらいことが少しでも軽減されればと思います。